

# 住民自治協議会だより

第7号

発行：小田切地区住民自治協議会 自治協だより編集委員会

## 就任のごあいさつ

住民自治協議会会長 海沼 一夫

去る4月20日に開催された、住民自治協議会総会において、会長という大任を仰せつかりました。もとよりその器ではありませんが、微力を尽くし、責務を全うしてまいりたいと思っております。

「小田切を元気に！」の合言葉で発足した住民自治協議会は3年目を迎えました。本年度は、市の補助金制度を運用し、事務局長を5月から設置し、6月から地域活性化推進員2名を任用しました。

住民自治協議会が主体となった活動を推進していく体制が整う中、地域やる気支援補助金を受け、酒井前会長が主宰する「小田切うんめえ塾」がスタートしました。また、22年度に策定された福祉活動計画に基づく事業の推進も図っていきたく思っております。

地区内に限界集落が増えていく中、5年後、10年後を見越し、小田切地区に密着した現実的な活動を、役員一丸となって取り組んでまいりますので、皆様方のご支援、ご協力を心からお願いいたします。



### 平成24年度 住民自治協議会役員

▽会長 海沼一夫（総務・安全防災部会長）▽副会長 宮尾正明（総務・安全防災部副会長）、宮尾忠二（福祉・健康部会長）、宮尾壽（環境・地域活性化部会長）、塩入孝男（教育・文化部会長）▽会計 大日方隆人▽総務・安全防災部副会長 竹内重雄▽福祉・健康部副会長 竹内弘司▽環境・地域活

小田切支所長 田中 実

4月1日付の人事異動で小田切支所長に着任いたしました。小田切支所には、平成14年から2年間お世話になりましたので、今回は2度目となりますが、よろしく申し上げます。

着任後、各種団体の会合にお招きをいただきましたが、以前お世話になった皆様が、加齢はされていますが、当時とお変わりなく、地域のために活動を続けておられ、感銘を受けると共に、これが小田切を支えている底力なのだと深く感じたところです。

ご存知のように市内全32地区で住自協が設立され、それぞれが独自の規約・組織構成のもと住民要望の実現、地域課題の解消に向けて活動を展開しています。

住自協は長野市が推進する「自分たちの地域は自分でつくる」という都市内分権の理念を具体化していくため、各種団体をネットワーク化し、団体の枠を越えて地域課題に取り組み、総合的に課題解消を図ることを目的に創設され、準備期間を設け、22年度を本格稼働と位置付け、今年度で3年目を迎えた組織です。

役員の皆様の負担を軽減し、安定した活動を進めていく事が出来るよう今年度から事務局長を雇用するための経費に対する補助制度ができ、6月1日時点で、32地区中25地区（小田切地区も含む）で事務局長が雇用され新たな体制の下で、今年度の活動がスタートしました。

しかしながら人口が1000人を割りそうで、過疎化・高齢化という中山間地域特有の厳しい現実直面している、小田切地区にとって「自分たちの地域は自分でつくる」という目標は、人財豊富な都市部の住自協と比べ、ハードルが高く、今後も行政による積極的な支援策が不可欠と思います。

「小田切を元気に！」を合い言葉に、住自協の皆さんと共に微力ながら努めてまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

性化部会副会長 池田光揮▽教育・文化部副会長 松本良一▽監事 安藤敏明、北澤栄樹

## 24年度各部会の事業計画

### 区長会と表裏一体で

総務・安全防災部会副会長 宮尾 正明

1. 定例区長会の開催  
住民自治協議会と連携して、市と地区が進める事務や事業を推進する。
2. 「住民自治協議会だより」の発行  
広報誌を年2回発行する。
3. 防災・安全対策推進のための防災マップの作成  
消防局等の指導を受け、地域にマッチしたマップを作成する。  
災害時に備え避難場所や経路等を確認する。
4. やまざと支援交付金事業の実施  
生活道路の草刈りや支障木の伐採作業又福祉自動車運転協力を支援する。
6. 他の部会に属さない事業への対応
  - (1) 小田切・七二会・中条三地区交流会を当番地区として成功させる。
  - (2) 防犯灯のLED（発光ダイオード）化を計画的に実施する。

### 地域福祉活動計画の更なる実現に向けて

福祉健康部会長 宮尾 忠二

小田切地区では昨年、地域福祉活動計画策定委員会の皆様が大変ご努力をされ立派な「小田切地区地域福祉活動計画」というものを作成していただきました。

地域で福祉事業など出来るだけ皆で支え合い、協力し合ってやって行くということで、この計画が「絵に描いた餅」にならないよう実行に移すのが、これからの我々の責務であると思っております。

昨年の東日本大震災で被災者を支援するボランティア、義援金等多くの関心が寄せられ「絆」が流行語大賞にまでなりました。

向こう三軒両隣、地域全体で困っていることが有ったら何でも気易く相談し、それに対応出来るような環境を創ることが課題であります。

自分がいつ支えて貰うようになるかも分かりません。困る人がいたなら元気に動ける時に出来るだけの事をする、お互いさまということですが、いざやるとなると簡単なようではありますが、なかなか出来ないことです。まずは自分の出来るような事から行動してみたらいかがでしょうか!!

そこで今年は、ボランティアの講習会を計画しておりますので、大勢の皆さん勉強して活動に参加して頂きたいと思っております。

### 環境・地域活性化部会の方針

環境・地域活性化部会長 宮尾 壽

1. 環境整備・美化活動の推進  
春秋の2回をゴミゼロ運動の日と定め、区内の道路や公共施設の一斉清掃を行う。年間を通して不法投棄の情報提供を随時行い、特に不法投棄多量箇所には監視カメラを設置し、ゼロ目標を目指し美しい地域づくりに努めたい。
2. 農作物の有害鳥獣対策  
今年度は、電気柵の設置、捕獲檻の購入、猟銃免許取得、有害獣駆除等を計画しています。
3. 遊休農地の活用対策  
3年前に植えた小野平わらび苗実験農場（10アール）については県の指導を受け、わらびの安定生産に向けた取り組みに努めたい。今年も、昨年耕作放棄地5アールを復元して枝豆を栽培し、後作として野沢菜を作付けし“野沢菜ツアー”も行いたい。  
特に今年度は、「小田切うんめえ塾」の目玉事業の実戦部隊として「遊休農地活性化委員会」全員連携し努めたい。
4. 観光施設の整備  
富士の塔山頂のモニュメントの傷みがひどいため改修を予定しております。

### 地域の絆づくりのために

教育・文化部会長 塩入 孝男

過疎化と少子高齢化が一段と加速している小田切地区が「ささえ愛で絆づくり」をモットーに元気な小田切に繋がることを目指して、教育・文化部会は今年度次の6項目を主体に活動してまいります。

- (1) 各種世代間交流事業の推進
- (2) 青少年子ども育成事業の推進
- (3) 人権啓発活動の推進
- (4) 市立公民館・地域公民館の連携協調の推進
- (5) スポーツ振興による住民の健康増進
- (6) 各種教室・サークル活動の推進

どの項目も小田切公民館の事業運営と深い関りがある当部会は、共に連携してより多くの皆様がイベントに参加できる事業展開を図るよう努めます。また地域事情に即した創意工夫が出来る基は皆様からのアイデアや提言でありますので、ご意見をお待ちしております。そして進める事業が心身のよりどころとなれば目的は達成されます。皆様の参加ご協力を宜しくお願いいたします。

## 平成24年度 小田切地区住民自治協議会予算書

**(一般会計)**

収入合計 8,330 千円  
 支出合計 8,330 千円

**収入の部**

〈交付金〉 3,570 千円

・地域いきいき運営交付金 3,570 千円

〈補助金〉 1,976 千円

・事務局長設置費補助金 621 千円  
 ・地域福祉推進事業補助金 970 千円  
 ・福祉のまちづくり実践事業補助金 168 千円  
 ・その他 217 千円

〈地区負担金〉 1,237 千円

・地区負担金 1,237 千円

〈繰入金・その他収入〉 497 千円

・観光協会繰越金繰入金 71 千円  
 ・基金よりの繰入金 369 千円  
 ・雑収入 57 千円

〈前年度繰越金〉 1,050 千円

前年度繰越金 1,050 千円

**支出の部**

〈総務・安全防災部会費〉 921 千円

・会議費 420 千円  
 ・行政連絡事務費 地区配分金 251 千円  
 ・住自協広報紙発行印刷費 120 千円  
 ・その他 130 千円

〈福祉・健康部会費〉 1,934 千円

・地域福祉ワーカー設置費 970 千円  
 ・おしゃべりサロン補助金 340 千円  
 ・ひとり暮らし高齢者の集い補助金 150 千円  
 ・喜寿祝賀会補助金 150 千円  
 ・その他 324 千円

〈環境・地域活性化部会費〉 732 千円

・観光施設整備費 254 千円  
 ・うんめい塾繰出金 290 千円  
 ・その他 188 千円

〈教育・文化部会費〉 1,376 千円

・同促協関連事業費 140 千円  
 ・地公連関連事業費 1,028 千円  
 ・その他 208 千円

〈事務局費〉 2,620 千円

・人件費 1,662 千円  
 ・備品消耗品費 103 千円  
 ・通信運搬費 155 千円  
 ・会議費 145 千円  
 ・使用料 384 千円  
 ・その他 171 千円

〈その他〉(繰出し金・予備費) 747 千円

**(特別会計)**

〈福祉自動車特別会計〉

〈収入〉 1,250 千円

・社協補助金 358 千円  
 ・自治協補助金 597 千円  
 ・繰越金他 295 千円

〈支出〉 1,250 千円

・保険料 150 千円  
 ・車両管理量 250 千円  
 ・燃料費 400 千円  
 ・予備費 310 千円  
 ・その他 140 千円

〈やまざと支援交付金事業特別会計〉

〈収入〉 601 千円

・やまざと支援交付金 600 千円  
 ・その他 1 千円

〈支出〉 601 千円

・生活道路管理等 331 千円  
 ・福祉自動車運転活動費 206 千円  
 ・その他 64 千円

〈地域活性化事業(うんめい塾)特別会計〉

〈収入〉 1,300 千円

・市やる気支援補助金 1,000 千円  
 ・自治協繰入金 290 千円  
 ・その他 10 千円

〈支出〉 1,300 千円

・需用費 446 千円  
 ・役務費 100 千円  
 ・委託料 620 千円  
 ・報償費及び謝礼金 134 千円

### 募金ありがとうございました！！

日赤社資・寄付  
 平成24年度 結果報告  
 緑の募金

| 区名   | 戸数  | 日赤社資    | 日赤寄付   | 緑      | 計       |
|------|-----|---------|--------|--------|---------|
| 深沢   | 43  | 10,500  |        | 2,179  | 12,679  |
| 吉窪   | 48  | 16,000  | 9,000  | 8,320  | 33,320  |
| 下宮野尾 | 27  | 5,000   |        | 1,720  | 6,720   |
| 上宮野尾 | 37  | 15,000  |        | 2,720  | 17,720  |
| 上山田中 | 15  | 8,000   | 7,500  | 1,200  | 16,700  |
| 下山田中 | 25  | 14,000  |        | 2,080  | 16,080  |
| 国見   | 40  | 39,000  |        | 3,200  | 42,200  |
| 中組   | 24  | 20,000  |        | 1,760  | 21,760  |
| 千木   | 16  | 14,000  |        | 1,330  | 15,330  |
| 地蔵平  | 62  | 34,000  |        | 5,125  | 39,125  |
| 裾花   | 98  | 24,500  | 23,300 | 7,840  | 55,640  |
| 計    | 435 | 200,000 | 39,800 | 37,474 | 277,274 |

## 平成24年度部会名簿

### 総務・安全防災部会

| 代表者名  | 団体名                   |
|-------|-----------------------|
| 宮尾 正明 | 深沢区長（区長会会長）           |
| 海沼 一夫 | 吉窪区長（区長会副会長）          |
| 徳竹 政茂 | 下宮野尾区長                |
| 滝沢 了吉 | 上宮野尾区長                |
| 岡澤 芳文 | 上山田中区長                |
| 岩崎 治彦 | 下山田中区長                |
| 玉城 清  | 国見区長                  |
| 安藤 敏明 | 中組区長                  |
| 大日方隆人 | 千木区長                  |
| 和田 義雄 | 地藏平区長                 |
| 小林 孟  | 裾花区長                  |
| 宮尾 正明 | 小田切地区防犯協会             |
| 小林 一広 | 長野市消防団小田切分団           |
| 原田 節子 | 小田切地区白バラ会             |
| 柳澤 光大 | 県道小川長野線小田切地区愛護会       |
| 竹内 重雄 | 飯森新橋線改良促進期成同盟会（小田切分）  |
| 山上 健一 | 県道入山小市線整備促進期成同盟会      |
| 宮尾 正明 | 小田切地区地域輸送運行委員会        |
| 酒井 昌之 | 小田切農村環境改善センター等利用運営委員会 |

### 福祉・健康部会

| 代表者名   | 団体名            |
|--------|----------------|
| 宮尾 忠二  | 小田切地区福祉委員会     |
| 竹内 弘司  | 小田切地区民生児童委員協議会 |
| 酒井 つた子 | 小田切地区保健補導員会    |
| 宮澤 伸一  | 小田切地区老人クラブ     |
| 酒井 宣雄  | 遺族会小田切支部       |

### 環境・地域活性化部会

| 代表者名  | 団体名             |
|-------|-----------------|
| 宮尾 壽  | 小田切地区環境美化連合会    |
| 宮尾 忠二 | JAながの小田切農家組合長会  |
| 池田 光揮 | 小田切地区遊休農地活性化委員会 |
| 北澤 栄樹 | 小田切地区有害鳥獣対策委員会  |
| 竹内 重雄 | 小田切地区NOSA I部長会  |
| 酒井 宣雄 | ※小田切地区観光委員会     |

※4月16日住目協役員会において、小田切地区観光協会が名称変更すると共に住目協構成団体となる。

### 教育・文化部会

| 代表者名  | 団体名                            |
|-------|--------------------------------|
| 松本 良一 | 小田切地区人権同和教育促進協議会               |
| 原山 希子 | 小田切地区青少年子ども育成協議会               |
| 塩入 孝男 | 小田切地区地域公民館連絡協議会                |
| 宮尾 一弥 | 昭風会                            |
| 臼井 和弘 | 巡礼桜保存会                         |
| 塩入 孝男 | 小田切歴史民俗資料展示室・小田切小中学校記念館管理運営委員会 |

### やまざと支援事業・買い物支援事業について

地域活性化推進員 岡澤 芳文

農林水産省の調べによると全国の“買い物弱者”は910万人に上るとみられる。県内では6.2%にあたる14万人。これはあくまで店から500m以上離れ、自動車を持たない人という条件で割り出した数字である。

小田切の人口約1,100人の6.2%は約70人に相当するが、詳細な調査はこれからだ。年金問題と根は同じ。今現在お金は有るが、お使いしてくれる子がいない。お金が無くてお使いが出来ない。やがてこれがお金も無くて、お使いも出来ない。あれ、これ自分の事？この様な話だけでなく、弱者の多様化と拡大は進むのか？地域活性化推進員は、市の補助金“やまざと支援交付金”により行なわれる“買い物支援”事業に伴う実務と管理業務を行なう。調査から始め、特に冬季での利便性を重点に準備している。豊かさを求め働き、高度成長を遂げその先がこれなのか？登り方を間違えたのか？登る山を間違えたのか？今どこなのか？活性化された新緑にいだかれる小田切を見て思う。

### 地域やる気支援事業宜しくお願ひします。

地域活性化推進員 塩入 孝男

6月1日付で小田切住民自治協議会の地域活性化推進員として事務局に勤めることになりました。経験の無いずぶの素人ですが、小田切地区の活性化のため微力ながらお役に立てるよう努めますので、宜しくお願ひいたします。

小田切住自協は今年度長野市地域やる気支援補助事業に応募し、100万円獲得しました。「小田切うんめえ塾」です。耕作放棄地を復元し、市街地の皆様と農作業体験を通して交流を図る事業ですが、この事務局の仕事を中心に地域活性化のための業務を進めてまいります。

小田切地区は高齢化率が40%を超えてきましたが、漲る熟・老年パワーを持っていると感じます。その原動力は中山間地のハンディを物ともせず、地元を愛する情熱ではないかと思ひます。“元気な小田切”をキーワードに、皆様のご協力・ご支援を得ながら、事業がスムーズに展開できることを確信し、頑張って汗を流します。

### 土木の現地調査行なわれる

5月21日、22日長野市の建設部等による小田切地区の現地調査が行なわれました。それぞれの地区で地元役員による説明、要望がなされ実情を訴えました。

# 小田切うんめえ塾が スタートします

塾長 酒井 昌之

## 100万円の交付を受けて

この小田切うんめえ塾は市の「地域やる気支援補助金」事業1,000万円のうち100万円の交付を受けて小田切地区住民自治協議会が行う「農業体験」です。場所は小野平。耕作放棄地37アールを復元した農地でそば、野沢菜、大根を栽培し、農業の面白さ、困難さなどを体験してもらい、市街地と小田切の交流を深め活性化に繋げていきたい方針です。

5月6日（日）、権堂町しなの木で行われた24年度「地域やる気支援補助金」事業選考会には18自治協から19事業の応募がありました。当自治協もこの事業に応募して、自治協発足以来初の交付を受けることとなりました。

交付決定を受けて5月8日から、伐採作業に入り、伐採では長野森林組合の格別なお力添えにより杉27本を処分していただきました。また大量に伐採した柳、樺、くるみなどの雑木は薪として地区内の希望者の皆様にお持ちいただきました。

伐根作業も重機を使い順調に推移し、現在は整地作業に入っています。今後、土壌改良を行い、7月28日にはそばを蒔き、11月にはこの復元した農地で作付けしたそばでそば打ち体験を行う予定です。

## 小野平の皆様のご協力に感謝

この事業は市の補助金をえて行いますが、何よりも大きな力は地元の地権者の皆様のご協力です。対象の耕作放棄地37アールの地権者は5名。そして、障害木の伐採と駐車場にご協力いただく方1名。6名の方のご協力なくしてこの事業はありませんでした。この際、紙面をお借りし改めて御礼申し上げたいと存じます。

## メニューは4コース

### ①そば栽培とそば打ち体験コース

これは、7月28日のそばの種蒔きに始まり、土寄せ、刈り取り、脱穀。そして最後はそば打ち体験です。

### ②野沢菜、大根栽培と野沢菜とりコース

8月下旬、野沢菜・大根の種を蒔き、土寄せ・間引き、収穫（野沢菜とりツアー）

### ③そば打ち体験のみ

これはそば栽培はできないが、そば打ち体験のみに参加したい方のために行うもの。

### ④野沢菜・大根収穫ツアーのみ

これも野沢菜と大根の収穫のみに参加したい方の

ために行うもの。

## 参加費

そばの種蒔き、土寄せ、刈り取り、脱穀など栽培作業体験は1回200円。（フルコースで800円）そば打ち体験は大人1人1,000円、小学生800円

野沢菜・大根栽培コースは種蒔き、土寄せ・間引き作業など1回200円。

野沢菜収穫は1キログラム50円（自分で収穫）。大根は市価より2割安。

指導は遊休農地活性化委員会

うんめえ塾の指導に当たるのは主として小田切地区遊休農地活性化委員会の皆様です。

役員は次の通りです。

▽塾長＝酒井昌之（農業委員）▽副塾長＝池田光揮（遊農活性化会長）▽事務局長＝塩入孝男（活性化推進員）▽同次長＝斉藤裕、宮尾直衛（遊農活性化副会長）▽委員＝遊農活性化委員会全委員

## ご協力をお願いいたします

このうんめえ塾は市の補助金を中心にして、当自治協が30万円を出して計130万円の予算で行う事業です。標高約1,000mの小野平で栽培するそばや野菜は天下一品です。この美味しさを市街地の皆様に味わっていただき、小田切の農産物は美味しいという小田切ブランドを創出していきたいと考えます。皆様方のご協力なくして成功はあり得ません。ご協力をお願い申し上げます。



## ひ と 言

今年度は、太陽・月・惑星による天文ショーの当たり年だそうです。ちなみに金環日食5/21・金星月面通過6/6・月による木星食7/15・木星と月の超大接近8/12・月による金星食8/14 肉眼で見えないものもありますが……。

## 着任の挨拶

保健師 土屋 こずえ

この4月に小田切支所に着任しました。出身は長野市の隣の中野市出身です。現在は長野市の南堀（朝陽地区）に住んでいます。通勤には40分くらいかかりますが、小田切の自然を眺めながら通うことが、楽しみとなっています。

趣味は自転車に乗ること。時々サイクリングのイベントに参加しています。他には、昨年からのこに興味が有り、図鑑なども時々眺めています。小田切地区はとても自然が豊かで、今から秋が楽しみです。

数年前からは、小田切地区の隣の七二会公民館で陶芸にもチャレンジ中です。自宅の茶碗やコップ、お皿などを中心に作陶しています。

保健師になり、色々な方の人生模様を身近で勉強させていただいている最中ですが、小田切地区のみなさんが、健康で生き生きと暮らしていけるよう、健康の維持増進の面から情報提供をしたり、一緒に考えさせていただけたらうれしいと思います。小田切地区が元気に、そして、一人一人がその人らしく生きることを、共に考えていける身近な相談役になれたらと思います。どうぞ皆様、よろしくお願いいたします。

## 都市内分権の流れの中で

事務局長 山上 健一

平成24年の元旦をつい先日の事のように思えてなりません。早半年が過ぎてしまいました。

5月より思いも寄らぬ住民自治協議会の事務局長の業務に就任いたしました。

長野市の都市内分権構想の中で今年より取り入れられた制度ですが、当初何をどのように取り組めばよいのか大変戸惑いました。

その後支所職員との仕事の隅分けにより、忙しく業務に専念しています。

小田切地区の住民自治協議会は11区と25の諸団体が成り立っています。

また、住自協採用の地区福祉ワーカー、2名の活性化推進員、会計担当の事務局員がおります。

これ等の組織と人が有機的に結び付き、円滑に機能すべく凝り固った脳の筋肉をもみほぐしながら努めたいと思っています。

そして地区活性に半歩でも踏み出せばと念じています。

## 「ひとり暮らし高齢者の集い」開催しました



福祉・健康部会、福祉委員会では去る7月6日（金）に千曲市、杏泉閣において「ひとり暮らし高齢者の集い・ふれあい会食会」を開催しました。

この事業は毎年の恒例となっているもので、楽しみに待っていてくださる方々も多いものです。

当日は梅雨最中というすっきりしない日ではありましたが、該当者、役員含め46名の参加者がありました。今回は会場も千曲市の杏泉閣に変わりました。

当日は2台のバスに分乗し、一路稲荷山に向かいます。バス内でも久しぶりに会う人たち同士で早くも楽しい会話が弾んでいました。同じ地区内に居てもこの日しか会えないという人もいるそうです。

杏泉閣到着後は土屋保健師さんの童謡に合わせたミニ体操と健康講話で体と頭もほぐしました。

一段落後はお楽しみの会食です。普段はひとりで食事をしているので、大勢で食べるのはそれだけでご馳走だねという声もありました。

お風呂と会食を楽しみ、また来年お達者で会えることを約束し、帰路に着きました。

## 「元気なまちづくり市民会議」

平成24年度小田切地区の開催は、9月15日（土）に「小田切農村環境改善センター」で行なわれることになりました。会議形態は講演会方式で、市長（施政方針・重点課題等）の講演後自由討議を行なうというものです。多くの皆様のご意見やご参加をお願いいたします。

## 編集後記

「住自協だより」第7号は、本年度事業計画と予算のお知らせを主に取り上げました。

できるだけ皆様に的確な情報をお届けできるように編集委員一同努めてまいりますので、ご協力ご指導をよろしくお願いいたします。編集委員一同